

●CONTENTS●

1. 平成9年度入学式・学長告辞
2. HOT LINE / 平成9年度学事日程・志願者状況・就職・学位記授与式
4. CAMPUS LIFE / 晴れの受賞おめでとうございます。MY VOICE。連携大学院がスタート。退任される先生方から
6. 新任教員ご紹介インタビュー
8. INFORMATION / 人事・その他

1997.4.25

大同工大 DAIDO CAMPUS

No.27

キャンパス

編集・発行 大同工業大学広報室 〒457 名古屋市南区滝春町10-3 TEL052-612-6117(直)

皆さん入学おめでとう。又、本日ご来席のご両親、ご家族の皆様にも心からお祝いを申し上げます。

さて皆さんの心の中には、夢と希望の花が咲き誇っていることでしょう。

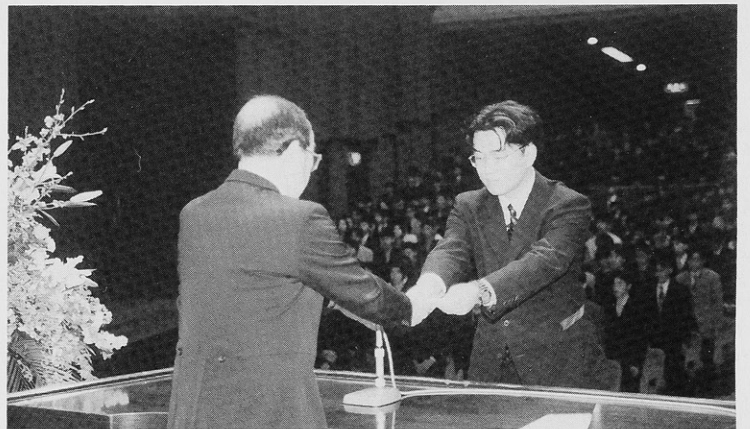
春の木々は一斉に芽をふき養分を吸い上げ、実をふくらませていきます。皆さんも学問という養分をたっぷり吸収して、大きな人間に成長して下さい。

皆さんの脳の中には、百億個以上の細胞があります。これらの脳細胞も99%以上が眠っています。教育により細胞を活性化させれば、十倍・百倍の能力が、誰でも発揮できるということです。

人間の能力には、記憶能力・計算能力などの他に実にさまざまなものがあります。中でも最も大切な能力は、三つの気です。それは、やる気・元気・負けん気です。これに丈夫な体と思いやりの心があれば

授業を受けてくれば、それだけ先生方も講義に張りが出るというものです。

今年の学士院賞には、先年まで本学で化学を教授されていた山寺博士が選ばれ、新聞に発表されました。又、ノーベル賞の江崎博士の先生に当たる有住博士や、本学卒業式の表彰制度に名前が残る三好博士などの先生方がおられました。現在も本学には立派な先生が沢山おられます。「求めよ、さらば与えられん」という聖書の言葉があるように、皆さんは先生にぶつか



り、名鉄などの創立者です。

この桃介先生は、これからは理工学が日本の産業を振興するために必要であると考えておりました。昭和13年に70才で亡くなった翌年、その志を反映して、大同学園工業学校がこの地に誕生したのです。本学のルーツをたどれば、このように由緒

平成9年度入学式・学長告辞 “求めよ、さらば与えられん”

う言うことはありません。

昨年の入学式でも私は、織田信長の桶狭間の戦いの話をしました。田舎の暴れ者ですが、今言った三つの気を備えた信長は、秀才と名門の誉れ高い今川義元を打ち取りました。この大学の学生数と同じ三千人の織田軍は、一心同体、死にもの狂いで三万人余の今川軍の本陣に切り込みました。

この大学も信長軍のように一丸となって大改革の激戦中です。今年1月には2週間にわたり、学生による授業評価を実施しました。それは、学生諸君が大学教育の一方の当事者として、教育を充実しようとする改革運動に参加することです。先生方は、どうしたら皆さんに講義がわかってもらえるのか、又授業に興味を持ってもらえるのかということをいつも考えています。そのために、皆さんの意見を聞き、要望に応えたいと思っています。皆さんが真剣に

って、自ら何かを吸収する努力をして下さい。そのために、本学ではA・Aセミナーといって、一年生からすぐ指導教員の先生と直接に話し合う機会を設けています。

又、5月には大学祭が開催されます。大学を活性化させるために、学生諸君が活躍する機会でもあります。

さらに、外国の大学との提携にもこれまで力をそそいできました。今から約20年前から米国のオレゴン大学との提携を皮切りに、現在は5大学、3研究所との提携まで発展し、短期留学ではこれまで約600人の学生が外国の大学で学んでいます。

皆さんは、福沢桃介という名前を聞いたことがありますか、慶應義塾大学を創立した福沢諭吉先生のお弟子さんであり、木曾川に日本で初めて大々的な水力発電所を造り、その電気を使って、製鋼所・化学工場・電気鉄道などを次々と造りました。今日の大同特殊鋼、中部電力、関西電

があり、又、いかにこの地域の産業と深い関係があるかがお分かりでしょう。

2年後の平成11年にはこの学園の創立60周年を迎えます。新制の工業大学が発足してからも35年になります。これを記念して、高層ビルを中心とした新しいキャンパス建設の他、いろいろの記念事業を計画しています。皆さんの歩みと共に大学は新しく生まれ変わっていきます。

今、日本の産業はまだバブル後の沈滞ムードの中にありますが、やがて秀れた科学技術に支えられた工業力で、再び力強く前進をはじめましょう。皆さんが四年間、更にはその後の大学院で、しっかり勉強をして、立派な科学技術者に成長する頃には、皆さんは日本の、いや世界の工業と経済を引っ張っていく先頭となって、活躍することになるでしょう。そのような夢と希望を持って、不屈の精神で日々学ばれることを祈念して、私の告辞とします。

平成9年度 学事日程

平成9年 4 月

- 1日(火)～2日(水) ガイダンス (在学生)
受講票受付期間 (在学生)
- 2日(水) ガイダンス (新入生)
- 3日(木) 前期授業開始 (在学生)
- 5日(土) 入学式
- 7日(月) 受講ガイダンス (新入生)
健康診断 (新入生)
- 8日(火) 前期授業開始 (新入生)
- 11日(金) 日本育英会出願説明会
- 21日(月) 受講不認可発表
- 29日(火) 新入生歓迎会

5 月

- 25日(日) 大学祭開始
仮装行列
- 29日(木) 前夜祭
- 30日(金) 本祭 (休講)
- 31日(土) 本祭

6 月

- 1日(日) 本祭・後夜祭
- 2日(月) 代休講
- 7日(土) クラブ対抗新入生歓迎会ボーリング大会

7 月

- 2日(水) 後期受講票受付
受講ガイダンス
- 5日(土) 前期補講日
- 12日(土) 前期補講日
- 14日(月) 前期授業終了
- 15日(火)～16日(水) 前期補講日
- 17日(木)～31日(木) 前期試験期間

8 月

- 1日(金) 夏季休業開始
- 1日(金)～12日(火) 前期第1集中講義期間
- 1日(土)～3日(日) リーダースキャンプ
- 11日(月) 前期試験成績発表
前期追・再試験受付
- 14日(木)～9月8日(月) 短期留学
(アメリカコース)
- 23日(土)～9月18日(木) 短期留学
(ヨーロッパコース)

9 月

- 12日(金)～22日(月) 前期第2集中講義期間
- 24日(水)～30日(火) 前期追・特追・再試験期間
- 30日(火) 夏期休業終了

10 月

- 1日(水) 後期授業開始
- 7日(火) 前期追・特追・再試験成績発表
日本育英会出願説明会 (新入生)
- 13日(月) 受講不認可発表
- 22日(水)～23日(木) 体育大会 (休講)

11 月

- 16日(日) 学内レガッタ大会

12 月

- 2日(火) 日本育英会返還説明会(4年次生)
- 25日(木) 冬季休業開始
- 25日(木)～27日(土) 後期補講期間

平成10年 1 月

- 4日(日)～9日(金) スキースクール
- 9日(金) 冬季休業終了
- 12日(月)～23日(金) 受講ガイダンス
- 24日(土) 後期補講日
- 26日(月) 後期授業終了
- 27日(火) 2月12日(木) 後期試験期間

2 月

- 13日～20日(金) 後期集中講義期間
- 23日(月)～3月2日(月)
後期追・特追・再試験期間

3 月

- 11日(水) 後期追・特追・再試験成績発表
- 20日(金) 学位記授与式
卒業パーティー
- 26日(木) 受講受付期間 (在学生)
- 30日(月)～4月1日(水) ガイダンス(在学生)
- 31日(火)～4月2日(木) 健康診断(在学生)

平成9年度 志願者状況

今年は、新課程入試がスタートする初年度で現役受験生の動きが注目される年でした。受験生の70%以上は現役で、現役の志望動向が各大学の志願状況に大きく影響しました。また、昨年の旧課程最後の入試とは違って、現役の新課程による受

験生の併願状況は昨年のようなせっぱ詰まった状況ではなく、それが併願率の低下となり、私立大学の志願者の減少傾向へと繋がった年であり、本学も今年度の総志願者数は、7,637名で前年度比6%の減少でした。

各入試の志願者状況の概要については、別表のとおりです。

■大学院入試について

【修士課程】志願者34名、合格者34名
【博士後期課程】志願者4名、合格者4名

平成9年度 学科別・入試別志願者状況

学 科	女子学生 推薦	工業高 校推薦	推 薦	センター 利 用	前 期	後 期	計
機 械 工 学 科	16	71	466	164	1,308	238	2,263
電 気 工 学 科	14	42	232	52	896	126	1,369
建設工学科土木工学専攻	20	16	192	60	699	149	1,136
建設工学科建築学専攻	75	45	304	100	947	148	1,619
応 用 電 子 工 学 科	14	48	179	64	789	156	1,250
計	139	222	1,380	440	4,639	817	7,637

※ 前期に外国人留学生、後期に委託学生を含む

都道府県別志願者状況

都道府 県 別	北 海 道	青 森	岩 手	宮 城	秋 田	山 形	福 島	茨 城	栃 木	群 馬	埼 玉	千 葉	東 京	神 奈 川	新 潟	富 山	石 川	福 井	山 梨	長 野	岐 阜	静 岡	愛 知	三 重
志願者数	6	3	2	4	2	2	10	15	9	5	7	11	14	8	15	138	150	70	8	166	985	550	4,222	555

都道府 県 別	滋 賀	京 都	大 阪	兵 庫	奈 良	和 歌 山	鳥 取	島 根	岡 山	広 島	山 口	徳 島	香 川	愛 媛	高 知	福 岡	佐 賀	長 崎	熊 本	大 分	宮 崎	鹿 児 島	沖 縄	大 検	そ の 他
志願者数	157	50	77	92	29	49	8	2	54	45	8	20	16	22	16	4		4	1	6	1	1	9	7	2

就 職

就職の地元志向が高まる

本学の就職状況の特徴として、地元企業への就職を希望する学生が多いことが挙げられます。就職先の選択基準をアンケートで調べると、1番が「自宅通勤」、2番目に「企業の安定度」、3番目に「能力が発揮できる」という結果がでています。本学の学生のうち6割弱は愛知県の出身者で、東海4県まで含めると85%になります。子供の少子化も関係しているかと思われますが、学生自身も、また家族もあり外へ出たがらない傾向があるようです。

地元の産業の発展に貢献できると言う意味では喜ばしいことですが、東京や大阪に本社を置く大企業に就職をし、世界や日本を股にかけて活躍する全国型の学生が減ったということは寂しい気もします。

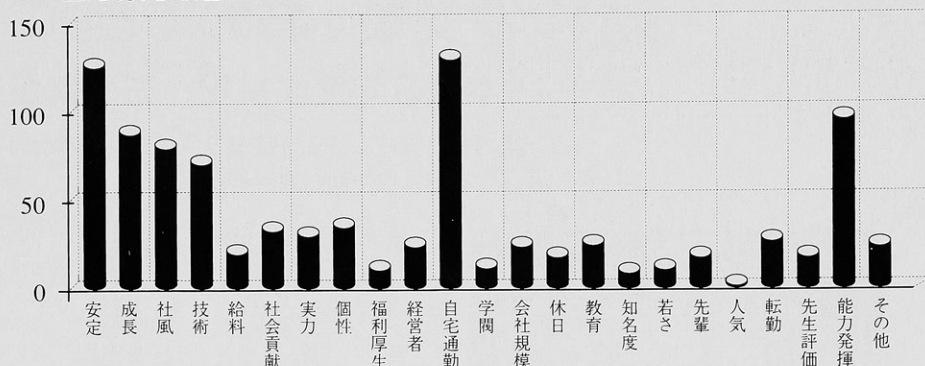
早期化・長期化の同時進行も

平成9年度から、就職協定が廃止になりました。これに伴って企業側からは、早期化の傾向が見られます。ただし大手の場合はマスコミの反応、批判など、社会的な影響が大きく、前倒しが予想されていた都市銀行も現在のところ控えているようです。

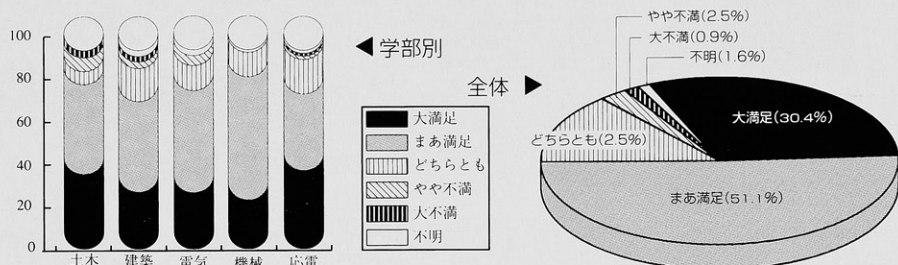
学生側は結局は企業に合わせる形になるので、企業研究や自分自身の方向性について充分考える時間を持たないうちに内定し、“しまった”ということも予測されます。あまり浮足立たずに慎重に行動してほしいと思います。

それに対応する本学の就職指導は、就職の模擬試験、ガイダンス、就職希望調査など、3月末までにすべての体制を整えて、4月から学生が就職活動を開始できるようにしました。おそらく5月連休明けから選考試験を本格化し、6月がピークになるのではないのでしょうか。ただ、本来は卒業研究に向けて勉強に邁進していただきたい時期です。就職活動に時間を取られて、勉強がおろそかになるのでは、という懸念もあります。

■応募先を選定するのに、次のどの要因を重視しましたか。■



■総合的に見て、あなたは今回の就職に満足していますか。■



チャレンジ精神の旺盛な学生を求む

就職は一生の問題です。自分の人生設計をきちんと立て、適性・能力などの自己分析を充分に行い、悔いのない就職をしていただきたいと思います。それに会社を選ぶ際は、業種や職種にポイントを置きあまり企業規模にとらわれないでいただきたいものです。固有な技術を持つ発展性のある中堅企業を自分の目で選択し、存分に能力を発揮して欲しいと考えます。

企業側が採用するポイントは、基礎学力は勿論ですが、それ以上に面接による人物評価です。本学の学生は比較のおとなしい感じがありますので、もう少し自信を

持って自分の長所をPRするつもりで臨んで欲しいと思います。短期間で採否を決定するわけですから、自分の考えをよく理解して、持てる力が100%発揮できるよう心掛けてください。それにこれからの国際社会に向けて英語力も身に付けるよう努力して下さい。

産業界における技術革新の進展に伴い、企業間の技術や製品開発の競争が一段と激しくなっており、理工系学部における大学院生のニーズが高まっています。大企業はもちろん、中堅企業においても、研究開発部門は院生主体です。こういう分野で腕をふるいたい学生は、大学院進学をも視野に入れてみてはどうでしょうか。

(就職指導部)

平成8年度 学位記授与式



平成8年度の学位記授与式(卒業式)は、3月19日(水)午前10時より名古屋市民会館において挙行されました。

学部の卒業生681名、大学院修士課程修了生40名が溢れる希望を抱いて実社会に巣立ちました。

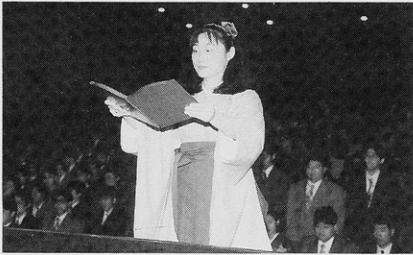
開式の後、堀井学長が学士と大学院修士の学位記をそれぞれ授与しました。その後、学長告示・卒業生答辞・来賓祝辞・卒業生より記念品贈呈そして学業優秀者等に対する学長賞・三好賞表彰と続き、11時に終了しました。

会場を出た卒業生たちは、教員や在校生らに出迎えられ、別れを惜しんでいました。

晴れの受賞、おめでとうございます

——平成8年度学長賞、三好賞が決定——

今年度の学長賞および三好賞が3月19日(水)挙行の学位記授与式において次の方々に授与されました。



学 長 賞

◆学部学生(9名)

……学業、人物、健康ともに優れ、他の学生の模範である。

機械工学科/浅井健史(蟹江高校)

機械工学科/上田佳史(安城東高校)

機械工学科/藤田昌弘(浜松南高校)

電気工学科/森川繁幸(桑名北高校)

建設工学科(土木)/加藤正幸(高蔵寺高校)

建設工学科(土木)/山口登(知多高校)

建設工学科(建築)/浅井里佳(多治見北高校)

応用電子工学科/都築則彰(岡崎西高校)

応用電子工学科/脇田正幸(羽島北高校)

◆大学院生(6名)

……修士論文が特に優秀で、他の学生の模範と認められた。

機械工学専攻/安達 崇

機械工学専攻/近藤節哉

電気・電子工学専攻/高木善則

電気・電子工学専攻/野田尚伸

建設工学専攻/岡本英明

建設工学専攻/加藤年宏

三 好 賞

◆学部学生(6名)

本学の元教授である三好保憲氏により寄付された基金により授けられる三好賞に輝くのは次の皆さんです。これまでに周囲の人望が厚い、研究室の活性化に寄与した、課外活動の発展に寄与したなどの理由により数多くの受賞者を出しています。

機械工学科/櫻井大輔(関高校)

……非常に勤勉な努力家であり、成績も極めて優秀である。卒業研究においても、ほとんど1日も休まず年間を通じ、他の卒研生の模範となりリーダーシップをとって行った。

また、研究室の親睦会のスキーやソフトボールも積極的に参加し、文

武両道に優れた好青年である。性格も穏やかで協調性がある。

機械工学科/戸村力(西春高校)

……自動車部の主将を務め各種の大会において多くの賞を獲得した。

電気工学科/猪爪慎一(柏崎工業高校)

……委託学生として入学し、4年間の教育課程において優秀な成績を上げ、卒業研究において研究室の活性化に大きく貢献した。また1年次より音楽研究部に所属して活躍し充実した学生生活を送り、多くの学生に社会人の考え方を示すなど良い影響を与えた。

建設工学科(土木)/渡辺剛(金沢向陽高校)

……4年間の不便な下宿生活にも関わらず、熱心に勉学すると共に、卒業研究で他の学生の模範となった。

建設工学科(建築)/洞田浩孝(緑高校)

……長年在籍している中で、向学心を失うことなく幾多の逆境を乗り越え、学位取得に至った強い精神力と直向きな向上心は受賞に値する。

応用電子工学科/青木賢太郎(岐阜工業高校)

……研究室の活性化に務めた。

産業界からも期待が集まる 「連携大学院」スタート

明日の技術者の育成を掲げ、本学と通産省工業技術院の名古屋工業技術研究所(名工研)が「連携大学院」の提携を結びました。官と学のタイアップで行われるこの試みは、中部地区初。去る4月1日には調印式が行われ、中日新聞などマスコミにも取り上げられるなどして話題を呼んでいます。

「連携大学院」は、名工研の研究員が本学の大学院客員教授となり、修士課程及び博士後期課程の大学院生の研究指導を、本学の研究指導教員との連携をもとに名工研において行い、学



位を取得するというシステムです。大学院客員教授は当初4名で同数程度の学生を受け入れます。

名工研では大学院生を受け入れることにより、新しい研究のスタイルの導入がはかられ、一方、本学側は大学院になり高度な研究施設・設備を利用しながら、独創的な研究に触れることができま

す。また大学院生は、通産省の機関である名工研のスタッフの一員として位置づけられ、産業界で最も求められる幅広い視野を持つ次代の研究者としての養成が期待されます。

学術研究のレベル向上だけでなく、産業界の振興にも大きな意義をもたらす画期的な取り組みとして、本学の「連携大学院」の今後に各方面から注目が集まっています。

なお、本学では名工研のほかにも、大同特殊鋼(株)技術開発研究所、財団法人ファインセラミックスセンターとも「連携大学院」の提携を行っています。

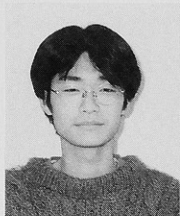
研究所において、大学院客員教授から学位論文研究指導を受けることを希望する大学院生は、各専攻主任に申し出てください。

MY VOICE

新入生の皆さんへ

学生会会長

95C062 中村雄一
(守山高校出身)



新入生の皆さんこんにちは、学生会会長の中村です。

さて皆さんは、4月から大学生になるのですが、入学する前に今までの小学校・中学校・高校という学校のイメージ

を忘れて下さい。大学は本当の意味で義務教育ではありません。勉強したい人だけ来ればいいんです。学校に出るのも遅刻するのもサボるのもあなたの自由です。誰からも怒られません。この自由をどこまで自分で管理できるかが、これから重要になってきます。そして、自由になったからには、自分のやりたいことをどんどんして下さい。大学生しかできないクラブ活動等はその一例です。気に入ったクラブがないとき、「自分の気に入ったクラブがないから入るのをやめよう」と、すでにあるものばかりから選択するのはなく、「自分の気に入ったクラブをつくる」という選択肢もあることに気づいてください。道がなければ自分でつくってください。とにかく、ボーとして自由の時間を無駄にするほどもったいないことはありません。これだけは、してはいけません。

大学に入ってから、「自分の思っていた大学とは違うな」とか「こんなことをするために大学に入ったんじゃない」と思うと思います。誰もがそう思うんです。それは、例えば大学を変えたところで同じ意見が出てきます。要するに自分の置かれた環境が悪いのではなくて、最終的には自分のヤル気の問題になるのです。

大学生は、自治権というものを全学生がもっています。社会で言うところの選挙権みたいなものですね。あなたの意見で学校が変わる。高校までにも、生徒会みたいなものがありましたね。違うんです。高校までは、なんだかんだで先生が管理していた。しかし、大学では学生だけの手で管理している。だから、自治なんです。何か、学校に意見があったり、学生生活で困ったことがあれば、学生会室まできてください。

機械工学科教授
酒井義文



人生は、重荷を背負って千里の道を行くが如きものと先人は教えています。どのような苦難にも耐えて前進してください。

21世紀は皆さんの時代であり、創造の時代であります。自らの足でしっかり大地を踏みしめ、独創力を発揮して、輝かしい一生を創り上げられることを切望します。

機械工学科教授
葛原定郎



私達の生活はますます便利になり、その恩恵に浴しているが、その反面各所においてそれ以上の歪みも生じている。

効率至上主義が批判されるようになってから、相当の時間が経過しているが、その反省はあまりみられない。

皮相と肉実のずれの大きさ、それだけに時流に流されない心構えが必要。若い諸君、とりわけ大学に学ぶ諸君にとっては、将来に向かっての貴重な四年間

退任される先生方よりのメッセージ



である。後悔は先に立たない。自己のためにも社会に貢献するためにも、まず勉学に励むことが第一。

百尺竿頭一步を進めてもらいたい。

機械工学科教授
星野克英



21世紀を目前にひかえ、世の中は今までにない変動の時代を迎えつつあります。やり甲斐のある反面厳しい試練も覚悟せねばならないでしょう。

激動する社会に対応するためには、基礎的学問と学際的学問の両方の学習が必要と考えられます。社会は、君たちに独創性・積極性・協調性・健康などを求めています。いわゆる“モノ人間”ではなく“マルチ人間”になって、問題点を

見出す力・考える力・解決する力を身につけ、広い視野と責任ある行動により、より良い人生、社会をつくり出してください。

今まさにそれらを学ぶときと思います。研鑽され実のある学生生活をお過ごしください

電気工学科教授
加藤哲男



大学における私の教育研究の最後に、思いかけずにファラデーに行き当たりました。

ファラデーは、1831年に電磁誘導の発見を始めとする数々の業績を残した偉大な科学者ですが、特別の高等教育は受けていません。優れた人材は、与えられる教育の中からではなく、自発性の高い環境の中からだけ育つことを改めて感じます。

学生が社会に足を踏み出すとき最も大切なのは、自己啓発から生まれる学業実績に対する自信と誇りであると考えます。これが将来新しいことに取り組む意欲につながります。

そのような日常の心構えを強く期待しています

新任教員ご紹介

将来に役立つ 具体的な授業展開を

機械工学科教授 土田 豊氏



●プロフィール (つちだ ゆたか)

出身地／大阪府吹田市

最終学歴／京都大学大学院工学研究科冶金学専攻 修士課程修了

学位／工学博士 (京都大学)

最終前歴／新日本製鐵(株) 技術開発本部・主任研究員

生年月日／昭和21年7月22日

趣味／最近始めたゴルフ

—これまでのご専門は？

鉄鋼材料の開発です。これまでは会社組織の中での研究でしたから、自分の研究をとことんまで追求しきれないという部分もありましたが、自分の研究開発したものが形になるという喜びがありました。

大学での専攻は冶金です。将来のためという具体的な目的が特にあったわけではなく、祖父が鉄工所を営んでいたので親近感もあったと思いますが、子供の頃から何か物を作りたいという漠然とした意識があったんですね。私は子供の頃から車が好きで、最終的にはオリジナルの車を作りたいと考えていたくらいです。構造を知るために、壊れたオートバイを買おうかと考えたこともありましたが、同じ理由で、時計なんかもよく壊しましたよ。いくつも分解して、結局元に戻らなかったんです (笑)。

—学生時代のエピソードを。

マスターの1年生のときに、金属学会で発表する機会がありました。一生懸命憶えていきましたから、話すのは大丈夫だったんですが、質疑応答になると、広い会場で行われたせいか、質問された方がどの方なのか全く分かりませんでした。あの時

は大変な思いをしましたね (笑)。

—今後、教壇に立たれるわけですが。

まずは私自身が一生懸命にやらなくては、という感じですね (笑)。学生に対しては、授業中はもちろん、それ以外の勉強も目的を持って取組んで欲しいと思います。ある時期には一心不乱に勉強することも必要です。そのためのバックアップは十二分に行いたいとおもいます。ただ知識だけを与えるのではなく、将来に役立つような具体的な内容の授業にしたいと思います。理論だけに偏らず、その背景まで含めて理解してもらえるような講義を、と考えています。

それから、時間的にはたぶん夜遅くまで残っているんじゃないかと思えますから、質問があったらいつでも来て下さって結構ですよ (笑)。

—御趣味は？

現在のところは、論文を書くのが趣味のようになっています (笑)。勤務先が自宅から近かったこともあり、休日も出かけてましたから。将来は、2、3年ぐらいアメリカのフロリダで生活したいねと、家内とときどき話し合っています。暖かいところでゴルフ三昧の日々を送ってみたいですね (笑)。

工学教育を 広義で捉えたい

応用電子工学科教授 草加勝司氏



●プロフィール (くさか かつじ)

出身地／愛知県一宮市

最終学歴／名古屋大学理学部物理学卒業

学位／工学博士 (東京工業大学)

最終前歴／大同特殊鋼(株) 技術開発研究所 主席研究員

生年月日／昭和13年10月6日

趣味／軟式テニス、ジョギング

—これまでのご専門は？

もともとは物理が専門ですが、企業へ入りましてからは、電磁気材料、粉末材料、それから新素材ブームになり、形状記憶合金、カーボン関係など、割と幅広い分野に渡る研究開発を行っていました。自分で何かを開発することが好きなんです。近年は管理職でしたのでそうもいきませんでしたが、かなりの時期まで自分でもやっていました。

—なぜこの分野を？

物理が好きだったというのが一番の理由です。何と言っても物理は物の理ですから。それに私の学生当時、名大では坂田昌一先生が量子論を教えていらっしゃったので、私にはよくわからなかったのですが、分からないものには人間やはり惹かれるものです (笑)。物がどんどん小さくなっていったらどうなるか、というミクロの世界も興味の対象でしたし、今でも魅力があります。

—今後、教壇に立たれるわけですが。

在学中には、教師になろうと考えたこともありました。そのために教員資格も取りましたし、教育心理学や行動心理学も好きで学びました。でも若い世代の物の考え方は環境によって変化しますから、今ではもう通用しないでしょう。もう一度勉強し直したいと思っています。

工学教育という面からの教育心理を、私なりに実践で行ってみたいという希望があります。もっと広く、工学とはどうあるべきかということ。そこから今後21世紀の工学や大学改革の方向が、独りで出てくるのではないかと思います。

—日頃心掛けていらっしゃることは？

人間は環境の動物ですから、自分の環境は自分で良くしていかなければならないと思います。人間ですから、気分が腐ることは誰にでもあるわけです。そんなときには仕事に打ち込んだり、スポーツをするなどして、自分自身で環境をよい方向に変えていくんです。

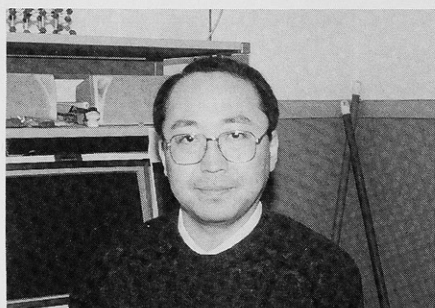
—御趣味は？

休日は休養をしたり、仕事関係以外の本を読んで一般常識を養っています。それからスポーツも好きなので時々行います。運動してリフレッシュすると頭の働きも良くなるような気がします。中でも特に好きなのは軟式テニスです。打つとボールがびしょん

とひしゃげるでしょう。むしゃくしゃするときはあれがいいんです（笑）。他にはジョギングも好きです。自宅近くの山崎川の辺りを走りますが、特に桜の季節は気分がよくて楽しいですね。

素直な気持ちで 研究に臨んでほしい

応用電子工学科助教授 堀尾吉巳氏



●プロフィール（ほりお よしみ）

出身地／愛知県西尾市

最終学歴／名古屋大学大学院工学
研究科博士課程応用物
理学専攻満了

学位／工学博士（名古屋大学）

最終前歴／名古屋大学大学院工学
研究科量子工学専攻・助手

生年月日／昭和31年3月8日

趣味／散歩・水彩画

—これまでのご専門は？

表面科学です。結晶表面で反射する電子線を蛍光スクリーンでとらえて、そのパターンから、物質表面の原子配列を解析する研究です。この手法は反射型と言われているのですが、試料を透過した際の電子線の散乱を読みとる透過型の手法と比べると、表面のみの情報を選択的に得られるという特徴があります。

近年の半導体の微細化に伴って、その表面構造も重大なテーマとして認識されてきています。表面科学の研究もますます盛んになってきているのはうれしいことです。

—それを予測してこの分野を？

いえ、たまたま大学に設備があったからです（笑）。でも、やり始めたら非常に興味深いものを感じましたね。人間の肉眼では到底見ることのできない、原子の位置がわかるというところに興味を持ちました。原

子によってそれぞれ構造が違いますが、なぜそうなるのかはまだ明らかではなく、ぜひ解明したいと思っていますし、かなりやりがいのある分野だと思います。それに結晶構造は綺麗で魅力的なものです。芸術的な観点から言っても、かなり興味深いものがありますよ（笑）。

いずれは新機能性材料の開発へと発展できればいいと考えています。

—本学の学生に対しては？

素直さ、真面目さを一番重要なことじゃないかと私は思っています。個人としての人生を送る上でもそうですが、研究を進める点から言っても、そういう素直な気持ちが無いと、自然のメカニズムを解きあかすことはできないんじゃないかと思っています。

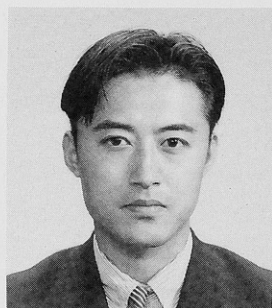
—御趣味は？

美しい景色を見ながらゆっくりと散歩をしたり、のんびりと水彩画を描いたりすることです。7歳と5歳の子供と連れだって、ときどき絵を描きに出かけることを楽しみにしているんです。でも、子供はすぐに飽きてしまいますから、ほとんどが中途半端な絵になってしまいます（笑）。と言っても、休日もほとんどの時間は研究に費やされていますからね。“趣味”というよりも“憧れ”というのが現状です（笑）。

28歳／名古屋の 都市計画に期待

建設工学科土木工学専攻講師

嶋田喜昭氏



●プロフィール（しまだ よしあき）

出身地／福井県勝山市

最終学歴／福井大学大学院工学研
究科博士後期課程シス
テム設計工学満了

学位／工学博士（福井大学）

最終職歴／福井大学工学部環境設
計工学科・助手

生年月日／昭和43年7月12日

趣味／スキー、ドライブ

—昭和43年生まれといいますと。

28歳です。福井県の豪雪地帯といわれる勝山市で生まれて、大学も福井と、いままで一度も県外に出たことがなくて（笑）。

—これまでのご専門は？

都市計画、とりわけ交通計画です。都市にあこがれて、カッコいいイメージがあったんです。今はそんなものじゃないって、理想と現実の違いがよくわかるようになりましたけど（笑）。

大学で工学を学ぼうと思ったのは、ぼんやりとした意識でしたが、四年生の秋くらいになると、卒論もレールの上に乗っているだけで、このままだと何もわからないまま終わりそうでもったいないと考えていたら、本多義明教授（環境設計）から大学院で研究しないかと勧められたのです。

修士課程2年、博士課程3年と本格的に研究して面白味がわかりましたし、同時に研究が地道なものだということも十分に理解しました。

—苦勞することなどは？

都市計画とは、単に図面を引くだけではなく、そこに住む住民と行政、さらに政治・財政問題など、さまざまな要因が絡み合って形成されていくもので、それが結構大変なんです。そうした研究室の実験やら研究だけの場から、外部の人間関係を知ることによって、社会生活に工学がどう生かされていくのかも、少し分かってきたように思います。

—どうして本学へ？

本多教授が名古屋出身で、本学とご縁があり「若いうちに世間を多く知った方がいい」と推薦してくださったからです。学生と年齢の差も少ないので、一緒に研究するつもりでいます。

名古屋は工業生産高が日本一という産業都市でもあり、またデザイン都市を目指しているとも聞いています。そうした日本でも有数の都市で、都市計画のプロジェクトに参加できるようになればと思いますね。

本多教授が福井で実践されているように、都市計画はまさに産、学、官（行政）が協力しあって推進できる学問分野だと思います。新しい土地、名古屋に期待しているところです。

INFORMATION

本学元教授 山寺秀雄氏が 日本学士院賞を受賞



3月12日の日本
学士院の総会で学術
の分野で優れた業績
を上げた9人に、'97
年度の日本学士院
賞を贈ることが決めら

れ、その中の一人に本学の山寺秀雄元
教授が選ばれました。

授賞式は7月上旬、東京・上野の
日本学士院で行われます。

山寺 秀雄 (やまてら・ひでお)

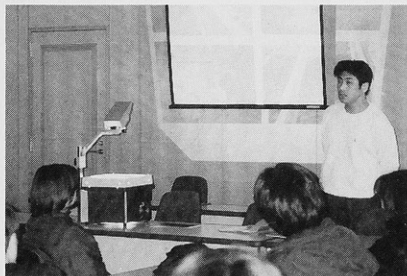
本学元化学教室教授

名古屋大学名誉教授

受賞理由

「金属錯体の分光学における山寺則の
創始と配位構造の研究」により受賞。

「平成8年度 海外学生研修報告会」 開催される



平成9年2月24日に、学術交流提
携校にて研修を体験した学生の成果が
多くの聴衆者を得て報告されました。

佐藤尚樹君(大学院建設工学専攻2年生)

テーマ/欧米の木造住宅

研修先/オレゴン大学

上原英悟君(建設工学科土木工学専攻4
4年生)

内容/英語研修

研修先/オレゴン大学A.E.I

学位取得

おめでとうございます

矢野治久講師 (機械工学科)



平成9年3月 岐阜
大学から博士(工
学)の学位を取得

論文「軸流中の回転
円筒状の乱流境界層
に関する実験的研究」

人 事

◇新任◇

〔平成9.4.1付〕 ●教授/土田豊(機械
工学科)、草加勝司(応用電子工学科)
●助教授/堀尾吉巳(応用電子工学
科) ●講師/嶋田喜昭(建設工学科土
木工学専攻) ●経理部次長(部長待
遇)兼管財部調査役/高橋祐介 ●嘱
託職員/箕浦弘(大同事務分室兼管財
課)、吉富孝(電気工学科)、山口克明
(応用電子工学科)、浅利直秀(工作実
験実習室) ●臨時補助員/安永吉伸
(化学教室)

◇昇任◇

〔平成9.4.1付〕 ●教授/伊藤昇一(機
械工学科)、山田廣也(機械工学科)、
大石弥幸(電気工学科)、笠嶋泰(建設
工学科建築学専攻)、佐藤達生(建設
工学科建築学専攻) ●助教授/服部
文彦(一般教養)、服部洋兒(一般教
養)、松浦章裕(機械工学科) ●講師
/池田洋一(機械工学科)、井上孝司
(機械工学科) ●総務部長/大竹辰也
(総務部次長兼庶務課長) ●企画室次
長(部長待遇)兼企画調査課長兼総務
部調査役兼学務部次長兼学務課長兼
総務部調査役/武田洋二(企画室次長
兼企画調査課長兼総務部調査役兼学
務部次長兼学務課長兼総務部調査役)
●管財部次長/野坂雅英(管財部調
査役) ●国際交流センター事務室長
(次長待遇)/田中久博(国際交流セン
ター事務室長) ●教務課長(次長待遇)
/柳楽杏一(教務課長) ●白水事務分
室長(課長待遇)/佐藤匠(広報課主
査) ●就職指導課主査/水野伸哉(就
職指導課)

◇異動◇ ()内は前職

〔平成9.4.1〕 ●学園事務局長事務取
扱兼学長付/小野二郎(事務局長事務
取扱兼総務部長事務取扱) ●経理部
調査役(次長待遇)兼経理課長/宮武
伸治(経理部次長兼経理課長) ●情報
処理センター事務室長兼事務システム
課長/児玉鉄男(事務システム課長兼
情報処理センター事務室長) ●庶務課
長/石川常夫(入試課長) ●入試課長
/神谷登司雄(大同事務分室長) ●大
同事務分室長/光永猛(図書課長) ●
図書課長(次長待遇)/中野順一(白水
事務分室長(次長待遇)) ●図書課主
査/佐藤慧子(大同事務分室主査) ●
教務課/佐藤育代(庶務課) ●広報課
/上田賢幸(庶務課) ●庶務課/森田
行徳(白水事務分室) ●白水事務分室
/高橋昌弘(高校事務部) ●高校事務
部/木村雅美(入試課) ●入試課/若
松亜紀子(教務課) ●情報処理セン
ター事務室兼事務システム課/小林吉
盛(情報処理センター兼事務システム
課) ●情報処理センター事務室/山田
明(情報処理センター)

◇退職◇

〔平成9.3.31付〕 ●教授/酒井義文
(機械工学科)、葛原定郎(機械工学
科)、星野克英(機械工学科)、加藤哲
男(電気工学科) ●嘱託職員/山本藤
四郎(庶務課)、小堺恵(広報課)、竹
内ゆり子(入試課)、久野満(大同事務
分室)、平岩五十鈴(電気工学科)、伊
藤重雄(応用電子工学科)、山口鉦次
(工作実験実習室) ●臨時補助員/大
岩正英(化学教室)

◇交替◇ ()内前任

〔平成8.10.16付〕 ●図書館次長/稲
垣卓造助教授(佐々木秀太教授) ●生
涯学習センター長/高田和之教授(細
井祐三教授) ●入試センター次長/関
谷昌久助教授(多田俊政教授) ●一般
教養主任/佐々木秀太教授(曾我静男
教授) ●建設工学科主任/久保田稔
教授(宮路榮二教授) ●応用電子工学
科主任/三品善昭教授(和田隆夫教
授) ●大学院機械工学専攻主任/糸
見和信教授(小野宗憲教授) ●大学院
電気・電子工学専攻主任/藤田順治
教授(三品善昭教授)
〔平成9.4.1付〕 ●大学院教務委員長
/細井祐三教授(美濱和弘教授) ●大
学院建設工学専攻主任/事口壽男教
授(太田福男教授)

◇委嘱◇

〔平成9.4.1付〕 ●客員教授/末松安
晴、松尾稔、中井三留、小川明